

栃木市都市計画マスタープラン (改訂版)

“自然”“歴史”“文化”が息づく
多様な交流を育む 新たな“とちぎ”のまちづくり

概要版



平成28年3月
栃木市

1 計画の目的と内容

《目的》

合併後の都市計画の再構築、将来のあるべき都市像、施策・事業等を推進する上での指針を策定します。

《内容》

『栃木市総合計画（改訂版）』の分野別計画：都市計画に関する分野（土地利用・都市施設・市街地開発事業・保全）の基本方針です。

《対象期間》

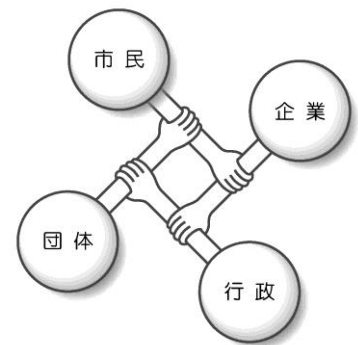
基準年次：平成25年 目標年次：平成45年（対象期間20年）

《対象区域》

都市計画区域（行政区域）：331.50km²（市街化区域：33.717km²）（H27.4.1現在）

2 まちづくりの総合的課題と目指すべき方向性

- 新しい栃木市の総合的・一体的なまちづくり
- 地域の個性を活かした魅力あるまちづくり
- 都市づくりの新たな価値観に基づく着実なまちづくり
- 共に考え行動する協働・連携のまちづくり



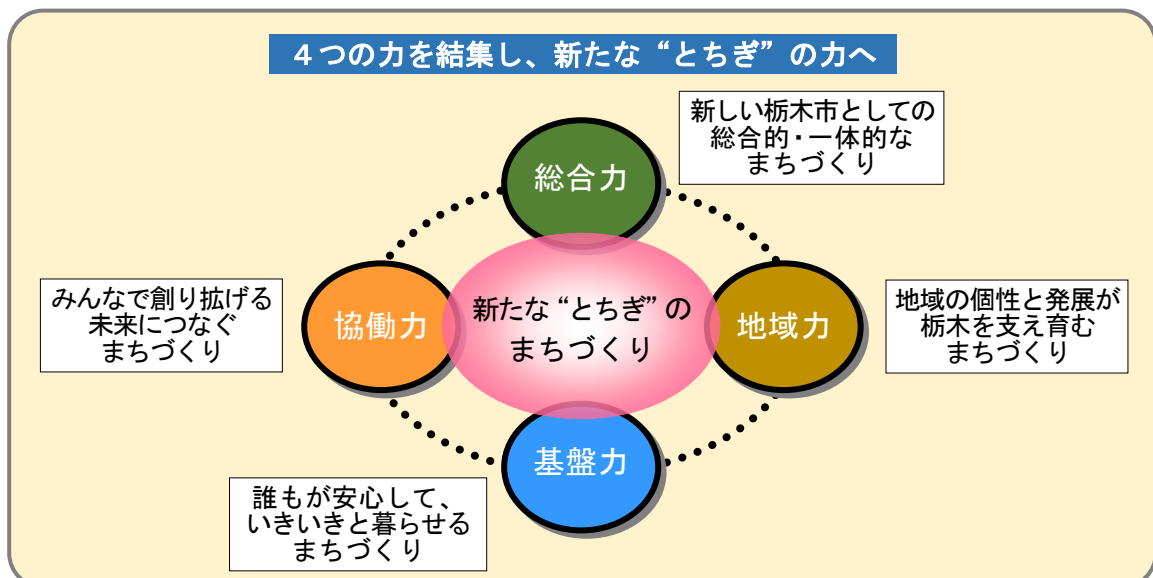
3 将来都市像等

(1) 将来都市像

“自然” “歴史” “文化” が息づく 多様な交流を育む 新たな“とちぎ”のまちづくり

本市の特長である“自然・歴史・文化”をまちづくりにおける重要な要素として捉え、市民ニーズの高い“交流”の基盤となる都市づくりに取り組みながら、市民・企業・団体・行政の協働による一体的なまちづくりを進めます。

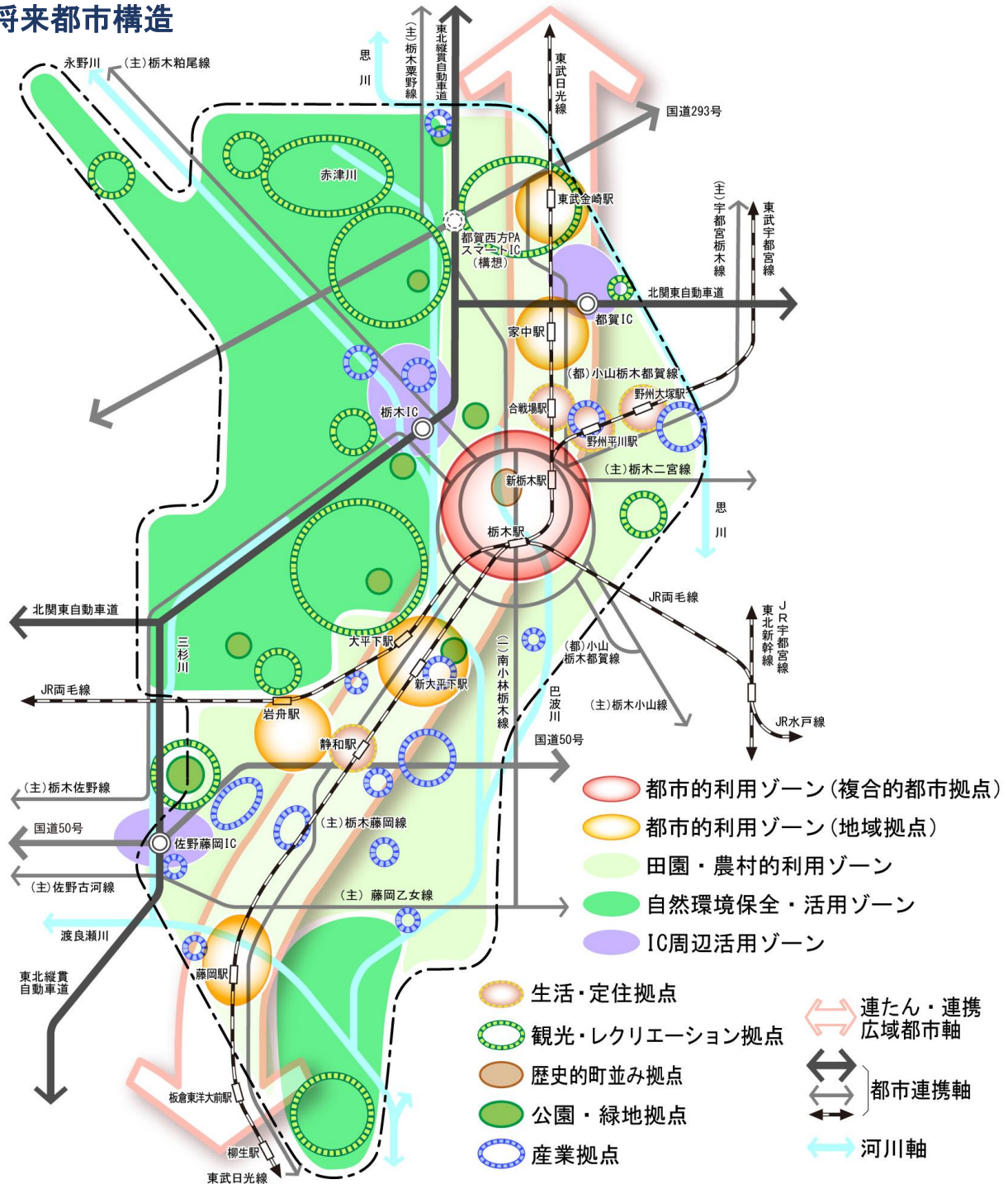
(2) まちづくりの基本理念



(3) まちづくりの目標

<ul style="list-style-type: none"> - 土地利用 - 自然と都市が共存共栄するまちづくり - 交通体系・都市施設 - 快適、便利な暮らしやすいまちづくり - 市街地整備 - 豊かな暮らしと活力を創出するまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> - 都市防災 - 市民の生命財産を守る安全・安心なまちづくり - 都市景観 - 地域資源を活かした美しいまちづくり - 都市環境 - 環境にやさしく豊かな自然を守り活かすまちづくり
---	---

(4) 将来都市構造



(5) 将来人口フレーム

区分	H22	H29	H34	H39	H44
目標値	164,024人	157,000人	152,000人	146,000人	140,000人

4 全体構想

土地利用

■市街化区域

- 計画的な都市機能配置と都市基盤の整備、コンパクトなまちづくり、適正な土地利用の誘導や、市街地の特性に応じた地域地区の指定等を図ります。

■市街化調整区域

- 自然や農地等を保全しながら、交流人口の拡大を目指します。また、農村集落の住みよい環境づくりと、高速道路インターチェンジ周辺及び幹線道路沿線の産業拠点の形成等を図ります。

■非線引き地域（市街化区域・市街化調整区域の設定がない地域）

- 用途地域を定めている地域の機能維持と都市基盤の整備を図り、用途地域を定めていない地域は自然・田園環境への影響に配慮した計画的な土地利用を図ります。



栃木地域の田園集落

交通体系

■道路網の形成

- 高速道路・国道の広域幹線道路、県道の主要幹線道路網、主要市道・都市計画道路の幹線道路網について、機能維持と整備を図ります。

■交通ネットワークの形成

- 自動車依存を緩和するための対策や、自転車・公共交通等の多様な交通手段で安全・快適に移動できる交通ネットワークの形成を図ります。



国道50号沿線

都市施設

■都市公園・緑地等の適正な配置

- 市民の憩いの場や災害時の避難場所となる公園・緑地の充実と維持管理を図ります。

■自然環境の保全・活用

- 豊かな自然環境を守りながら、それらを活かした特徴ある公園・緑地づくりを図ります。

■自然環境等のネットワークの形成

- 北部の山林エリアと南部の遊水地エリア等を核としながら、各地域の自然資源・河川・田園環境等を結ぶネットワーク形成を図ります。

■市民の快適で清潔な生活を支える供給処理施設等の整備

- 市民の快適で清潔な生活や都市活動を支える上下水道・汚物処理場・ごみ焼却場・火葬場の計画的な整備と維持管理を図ります。

■市民の快適で文化的な生活を支える施設の整備

- 市民の快適で文化的な生活や都市活動を支える学校教育・生涯学習・歴史文化・医療社会福祉・情報発信等の各種施設の計画的な整備を図ります。



都賀インターチェンジ



西方総合公園

市街地整備

■地域の魅力を高める市街地の形成

- 栃木駅・新栃木駅周辺は都市機能の集約や歴史的町並み等を活かした魅力づくりを図り、新大平下駅・大平下駅・藤岡駅・家中駅・東武金崎駅・岩舟駅及び野州大塚駅・野州平川駅・合戦場駅・静和駅周辺は、安心・快適に暮らせる良好な住環境の確保を図ります。

■計画的な市街地の整備

- 密集市街地の改善と整備済み施設の維持管理による定住促進や魅力ある都市環境づくりを推進し、必要に応じ新たな面的整備を検討します。

■良好な住環境等の確保

- 周辺と調和したきめ細かいまちづくりが期待できる地区計画制度の導入により、良好な住環境等の確保を図ります。



栃木駅周辺

都市防災

■災害に強い都市の形成

- 風水害や震災等を防止し、迅速な復旧が行えるまちづくり、被害を最小限に抑える“減災”のまちづくりを推進します。また、身近な避難路・避難場所・防災拠点の確保や、市全域の連携・役割分担等による防災機能の向上を図ります。

■防災体制の強化・連携等

- 災害時の対応と速やかな復旧のため、市民・企業・団体・行政の連携体制を強化し、防災知識の普及と意識啓発を図ります。



防災訓練の様相

都市景観

■地域の個性が輝く景観形成

- 各地域の駅周辺や公共施設等の象徴性のある景観形成、自然、歴史・文化資源を有効に活用した魅力ある景観形成、住・商・工等の地区特性に応じた景観形成を図ります。

■交流人口拡大に資する都市景観の形成

- 本市の賑わい、活力を促す交流人口の拡大のため、自然・歴史景観の保全と有効活用のバランスに配慮しながら魅力ある景観形成を図ります。

■市民等協働型の景観形成

- 市民・企業・団体・行政が一体となった協働型の景観づくりを推進し、誰もが愛着を感じ誇りに思える美しいふるさとの景観形成を図ります。



西方地域の田園景観



太平山



渡良瀬遊水地



三義山

都市環境

■コンパクトシティと低炭素社会の実現

- 鉄道駅を中心とした都市機能の集約によりコンパクトシティの実現を推進し、公共交通機関を活かした交通システムの導入や、公共交通・自転車利用の促進と歩行者環境の確保による環境にやさしい低炭素社会の実現を図ります。

■地球環境に配慮したまちづくり

- 市街地・都市施設の整備に当たっては、環境への負荷を軽減する手法等の採用や、長寿命化・維持管理への配慮、整備済みの施設等の維持管理により環境に配慮したまちづくりを目指します。

■自然と共生するまちづくり

- 自然と都市が調和し、持続可能なまちづくりを目指し、貴重な自然資源の保全を図るとともに、潤いと安らぎのある暮らしに資する自然環境の活用を図ります。

■協働で進める快適な都市環境づくり

- 市民・企業・団体・行政が協働し、それぞれの役割を果たしながら、活動等に取り組めるよう意識高揚と必要な支援措置等を図ります。

栃木地域

《地域の将来像》

都市と歴史・文化が融合した、賑わい、魅力ある拠点地域づくり



地域づくりの目標

- 都市機能の整備・充実による拠点的地域づくり
- 歴史的町並み環境の保全・活用による趣と賑わいのある地域づくり
- 地域の個性としての自然・田園環境、歴史資源等を守り活かした地域づくり
- 安心・快適で暮らしやすい地域づくり

地域づくりの基本方針

- とちぎの顔となる拠点都市整備の推進
- 地域の魅力化・交流を育む歴史・文化景観と都市景観の形成
- 個性的な自然・田園環境、歴史資源の保全・活用
- 防災及び生活関連施設の機能強化による安全・快適な生活環境の確保

栃木地域まちづくり整備方針図



栃木 IC



旧日光幣使街道



栃木駅



星野遺跡憩の森



地域の食文化（出流地区）

大平 地域

《地域の将来像》

自然・田園環境に抱かれた、美しく豊かに暮らす地域づくり

地域づくりの目標

- 充実した都市機能で豊かに暮らせる地域づくり
- 地域の個性を活かした魅力で人々をいざなう地域づくり
- 新たな拠点施設や広域交通網を活かした活力ある地域づくり
- 安心・快適で暮らしやすい地域づくり

地域づくりの基本方針

- 新大平下駅及び大平下駅周辺の地域拠点の整備
- 太平山及び南山麓周辺等における総合的観光施策の展開
- 新たな地域の活力を創出する拠点整備や産業・物流施設等の誘致
- 防災及び生活関連施設の機能強化による安全・快適な生活環境の確保



新大平下駅西口



大平下駅



幹線道路沿道の産業系施設

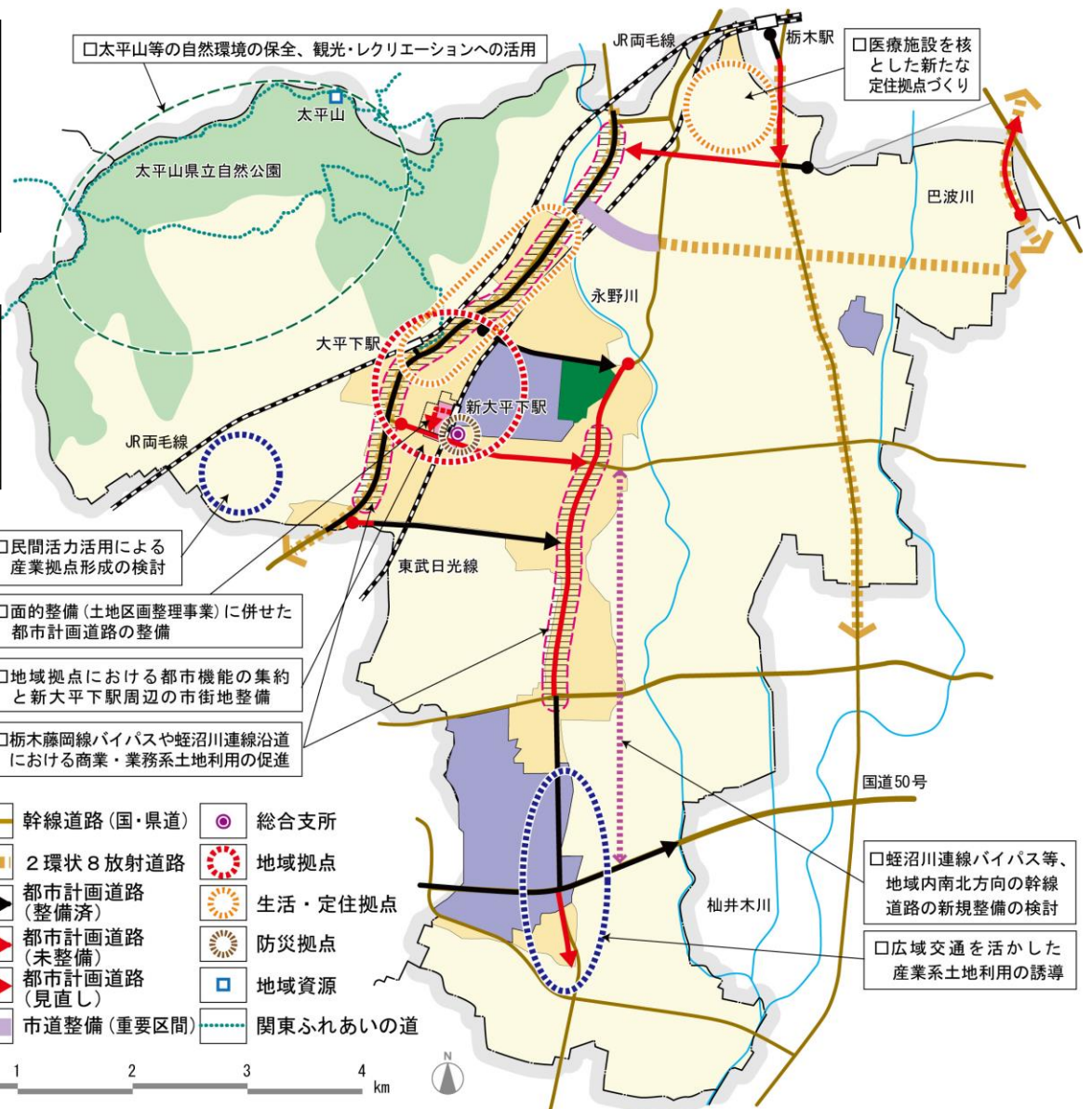
大平地域まちづくり整備方針図



地域の拠点となる
プラッツおおひら



観光活動（ぶどう狩り）



藤岡地域

《地域の将来像》

貴重な自然資源を守り活かし魅力につなげる、住みたいと思える地域づくり

地域づくりの目標

- 渡良瀬遊水地エリア、三叢山エリアを守り活かした地域づくり
- 生活環境の充実等による高質で魅力ある地域拠点づくり
- 広域交通網や位置的優位性を活かした活力ある地域づくり
- 安心・快適で暮らしやすい地域づくり



三叢山



藤岡駅前通り

地域づくりの基本方針

- レジャー・スポーツ機能の充実と地域資源との連携
- 藤岡駅周辺の地域拠点の整備及び安全・快適な地域づくりの推進
- 佐野藤岡IC周辺における産業・流通拠点の形成
- 防災及び生活関連施設の機能強化による安全・快適な生活環境の確保

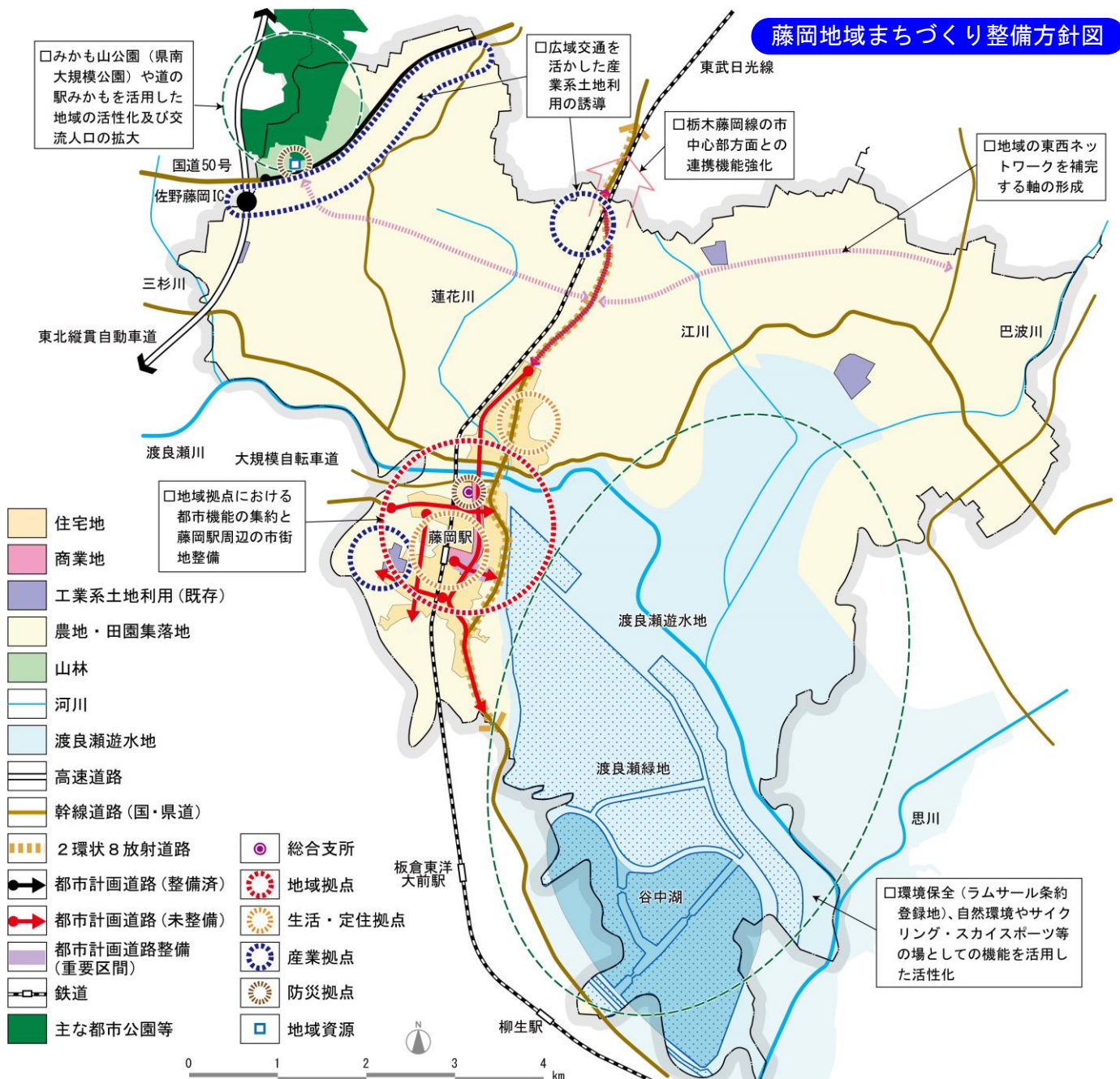


佐野藤岡 IC 周辺



住民の憩いの場となる渡良瀬の里

藤岡地域まちづくり整備方針図



都賀地域

《地域の将来像》

自然・歴史・文化・産業等を活かした多様な交流のある地域づくり

地域づくりの目標

- 生活環境の充実等による高質で魅力ある地域づくり
- 自然・歴史・文化等の地域資源を活かした地域づくり
- 広域交通ネットワークを活かした産業振興による地域づくり
- 安心・快適で暮らしやすい地域づくり



家中駅東口



赤津川

地域づくりの基本方針

- 家中駅周辺等の整備推進及び良好な集落・田園居住環境の形成
- 自然・歴史・文化等を活かした交流人口の拡大
- 広域交通網を活かした産業立地促進による地域活力の向上
- 防災及び生活関連施設の機能強化による安全・快適な生活環境の確保

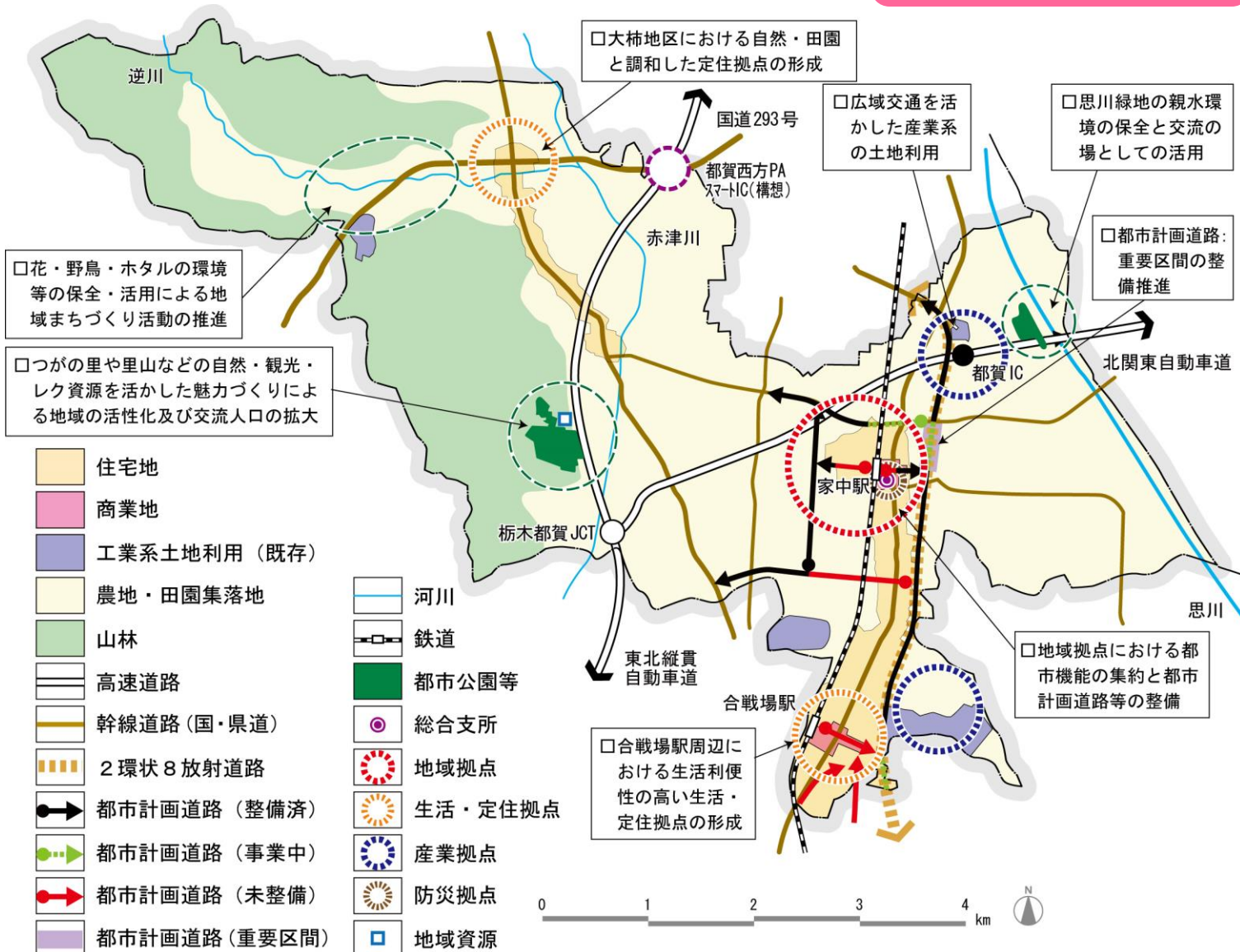


つがの里



小山栃木都賀線

都賀地域まちづくり整備方針図



西方地域

《地域の将来像》

美しく豊かな自然・田園のもと、多様な交流と活力のある地域づくり

地域づくりの目標

- 地域の個性を活かした拠点形成による魅力と賑わいのある地域づくり
- 産業基盤の充実と地域の特色ある産業展開による活力ある地域づくり
- 自然・歴史・文化等の地域資源を活かした地域づくり
- 安心・快適で暮らしやすい地域づくり



東武金崎駅



豊かな自然環境

地域づくりの基本方針

- 東武金崎駅周辺の地域拠点の整備推進
- 都市施設の計画的整備と「農」を活かした新たな産業振興
- 自然・歴史・文化等を活かした交流人口の拡大
- 防災及び生活関連施設の機能強化による安全・快適な生活環境の確保

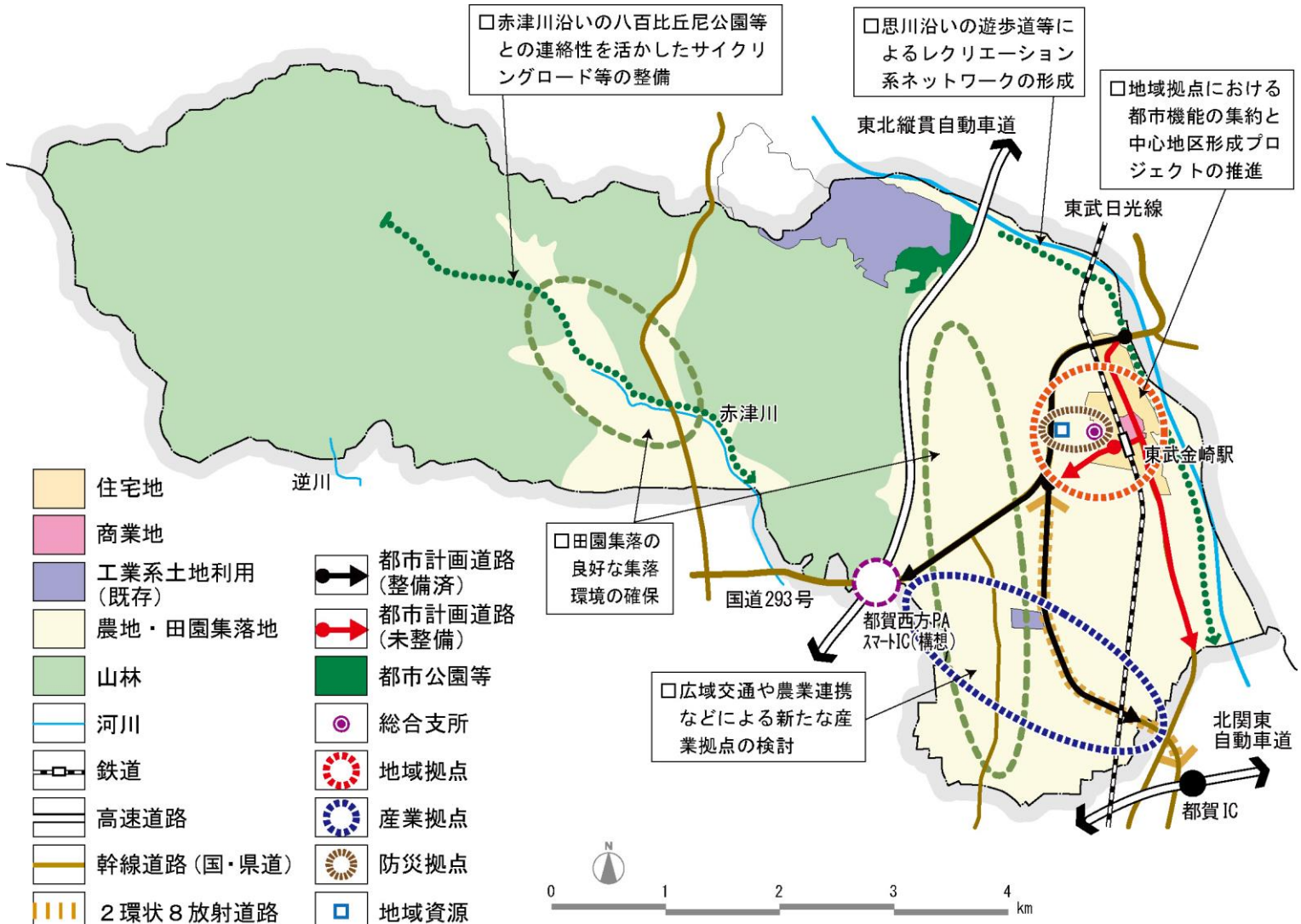


東武金崎駅西側の
公共公益施設



交流の核となる
道の駅にしかた

西方地域まちづくり整備方針図



岩舟地域

《地域の将来像》

広域的な活力・交流環境と、安全・快適に暮らせる地域づくり

地域づくりの目標

- 岩舟駅周辺・静和駅周辺における便利で快適に暮らせる環境づくり
- 自然や地域資源を活かした魅力で広域交流と賑わいをもたらす地域づくり
- 広域交通網を活かした活力ある地域づくり
- 安心・快適で暮らしやすい地域づくり

地域づくりの基本方針

- 岩舟駅周辺及び静和駅周辺における拠点づくりの推進
- みかも山公園や岩船山等における総合的観光施策の展開
- 新たな地域の活力を創出する拠点整備や産業・物流施設等の誘導
- 防災及び生活関連施設の機能強化による安全・快適な生活環境の確保



岩船山から市街地を望む



静和駅周辺における居住環境

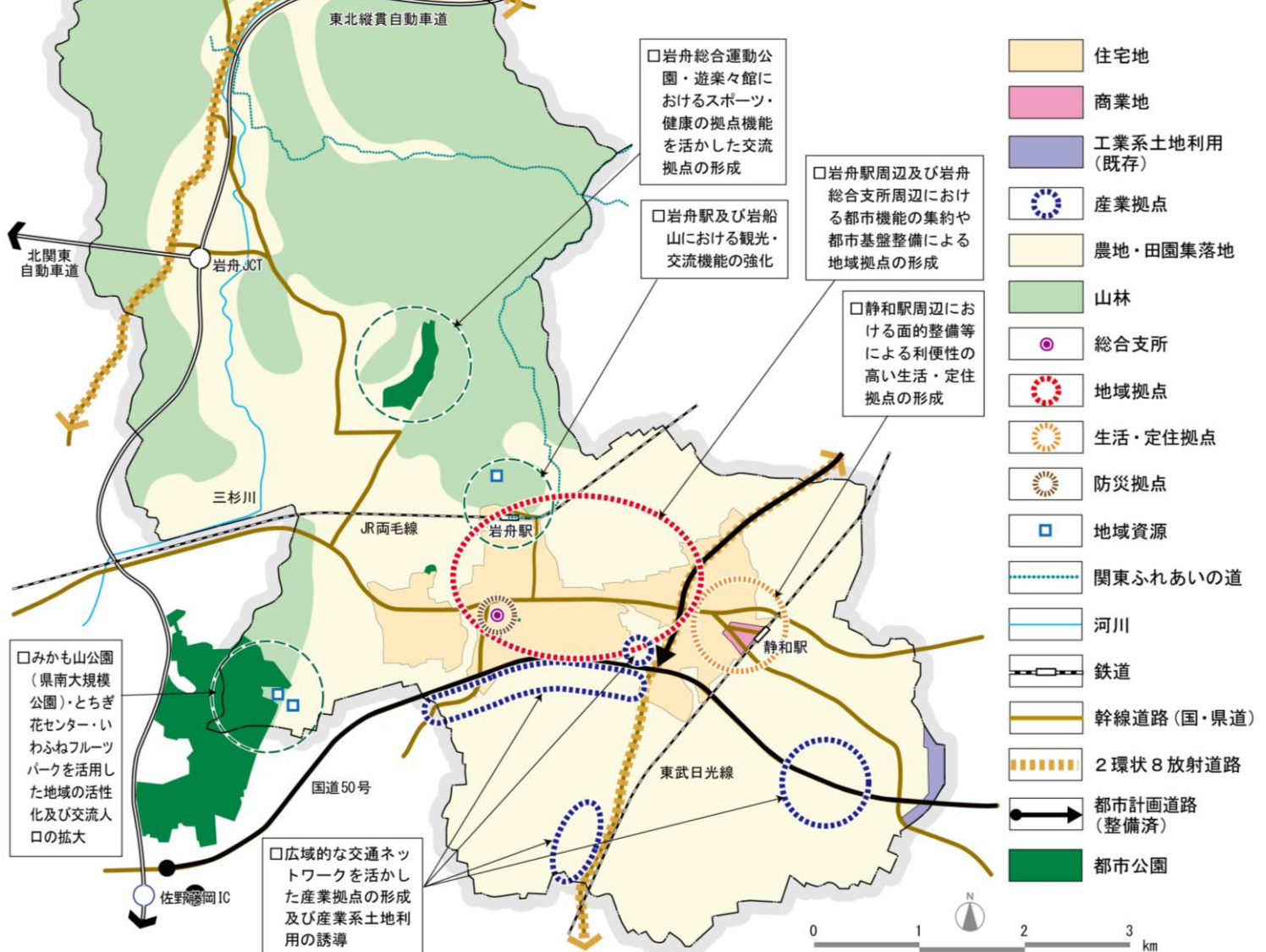


みかも山公園
(県南大規模公園)



地域の産業拠点である
岩舟工業団地

岩舟地域まちづくり整備方針図

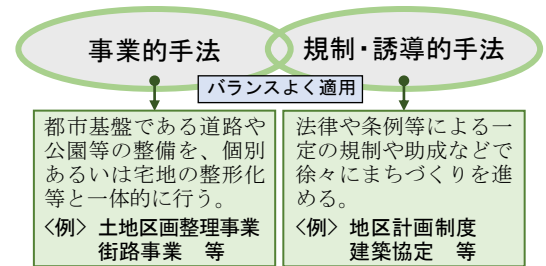


6 実現方策

都市計画として進める“事業的手法”と、地域住民等が主体的にまちづくりに取り組む“規制・誘導的手法”を適切に適用しながら事業の実現を目指します。

短期（1～5年）・中期（6～10年）・長期（11～20年）に取り組む事業の方針を次のとおり設定します。

【実現手法の考え方】



《短期をめやすに取り組む主な事業等》

- 複合的都市拠点や地域拠点における重点プロジェクト
- 「2環状8放射道路」等の本市の骨格的道路体系構築に係る道路整備関連
- 快適で安全な移動環境確保に資する公共交通ネットワークの形成
- 拠点的公園・緑地等の機能強化、整備関連
- 下水道、供給処理施設等快適な生活環境確保に必要な都市基盤整備
- 地域の魅力、栃木市の魅力を効果的に高める観光機能向上に資する事業

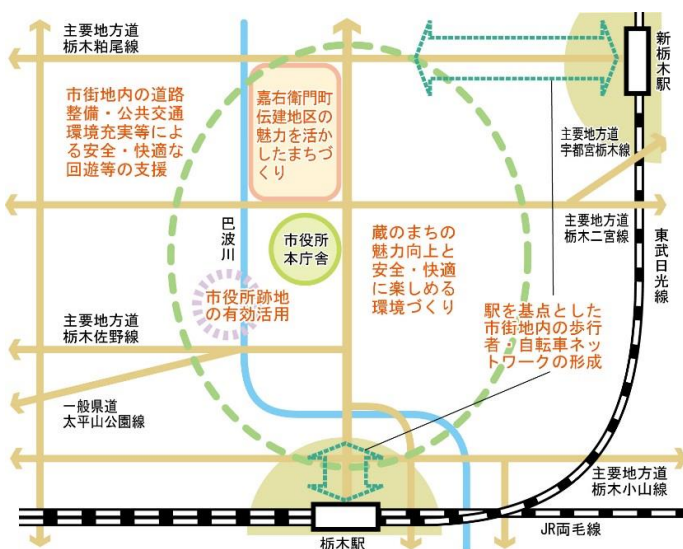
《中・長期をめやすに取り組む主な事業等》

- 複合的都市拠点や地域拠点形成における重点プロジェクトの継続的实施
- 生活・定住拠点形成のために必要な住宅地整備に係る面的事業の推進
- 市街地間を連絡する道路体系構築に係る道路整備関連
- 身近な生活環境の維持・改善等に関するルールづくり
- 事業実施に向けて新たな手法・制度等の構築が必要な事業等
- 社会、経済情勢等を見極めながら慎重に展開すべき事業等
- 隣接都市間や国・県等との調整を図りながら連携して展開すべき事業等

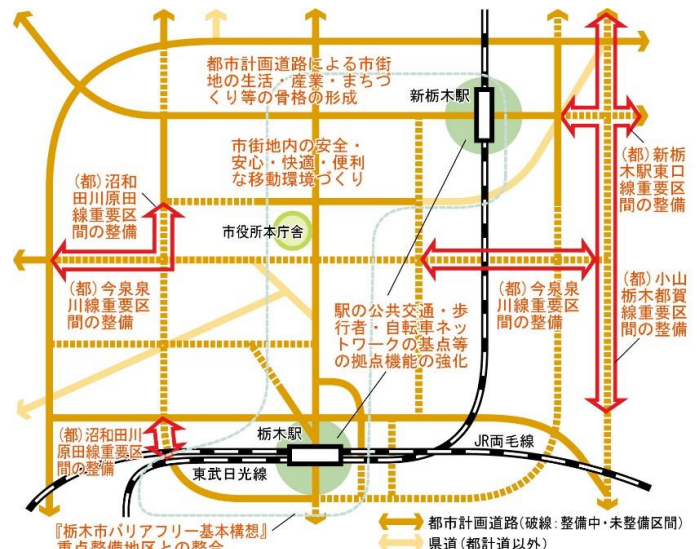
各地域の地域拠点形成に向けて重点的に取り組むプロジェクトを設定します。

栃木地域の重点プロジェクト

「蔵の街とちぎ」の歴史的空間総合形成プロジェクト

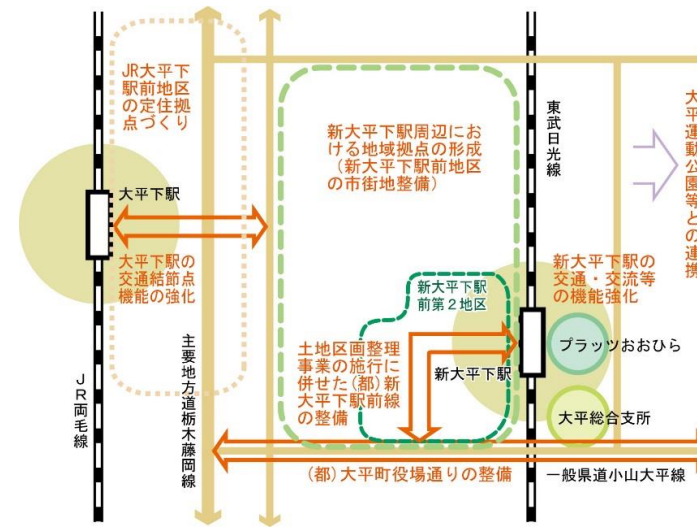


中心市街地道路・交通環境形成プロジェクト

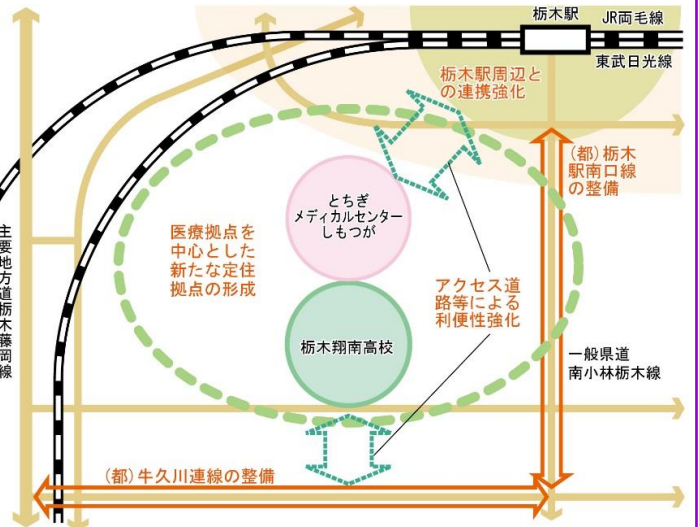


大平地域の重点プロジェクト

新大平下駅生活拠点形成プロジェクト

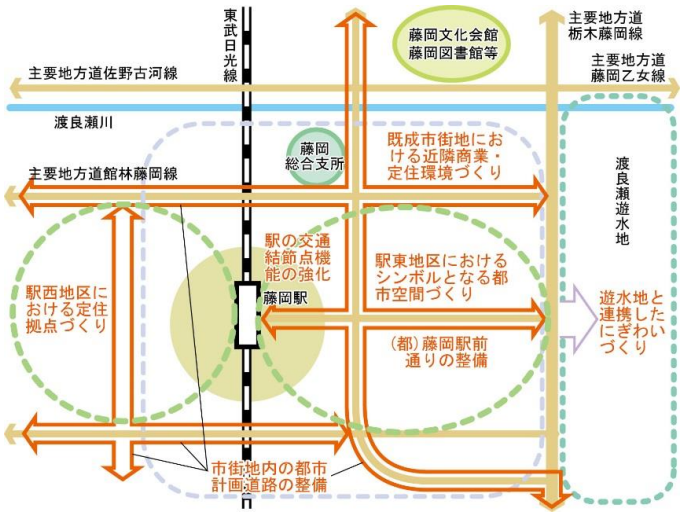


栃木駅南地区地域医療拠点形成プロジェクト



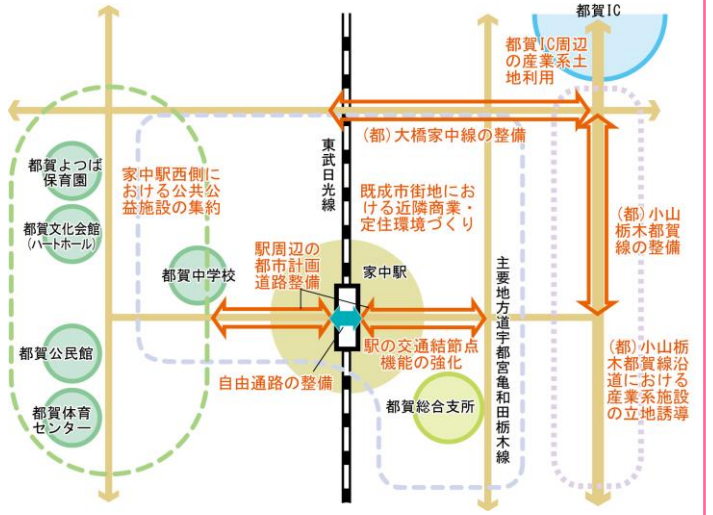
藤岡地域の重点プロジェクト

藤岡駅周辺地域拠点形成プロジェクト



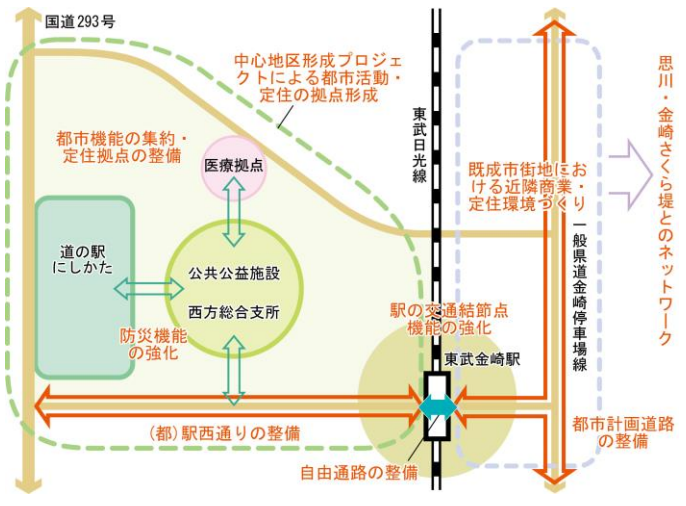
都賀地域の重点プロジェクト

家中駅周辺地域拠点形成プロジェクト



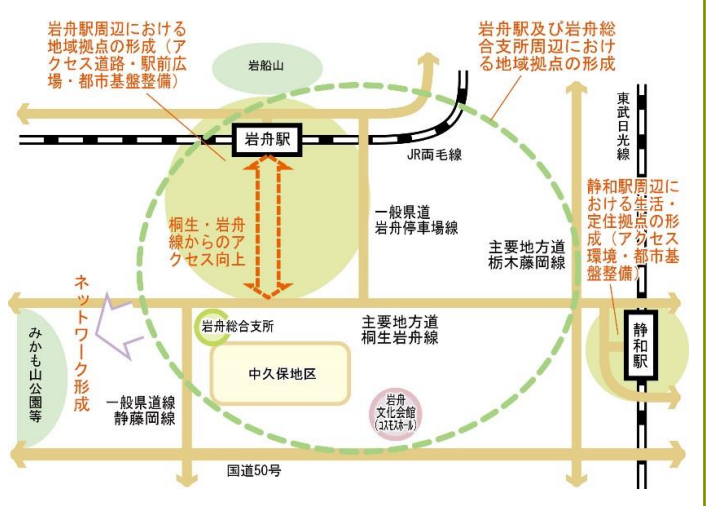
西方地域の重点プロジェクト

東武金崎駅周辺地域拠点形成プロジェクト



岩舟地域の重点プロジェクト

岩舟駅周辺拠点形成プロジェクト



自転車道の整備による地域連携・魅力向上プロジェクト

地域連携と一体感のある都市づくりのため、自転車道の整備による交通ネットワーク形成、観光・レクリエーション活動支援による広域的で多様な交流推進、自転車利用促進による環境負荷軽減やコンパクトな市街地形成・健康増進等を推進します。

自転車利用の効果

- ・健康的な乗り物（生活習慣病予防やダイエット効果等）
- ・環境に優しい乗り物（省エネルギーや低炭素社会への寄与）
- ・使い勝手がよい乗り物（比較的速く広範囲で高い輸送能力、災害時に活用、目的地直近までアクセス可能）
- ・経済的な乗り物（安価でメンテナンスが簡便）
- ・ふれあいのある乗り物（気軽に立ち止まることが可能）
- ・他の交通手段との組み合わせ利用が可能

まちづくりへの展開イメージ

- ・安全でふれあいのある交通手段としての活用（人と自転車と車が共存する新しい走行システムの実現）
- ・多様な交通手段が共存する快適な都市づくりの実現（自転車と他の交通手段を結ぶ新しい便利な交通体系・自転車ネットワーク等の実現）
- ・広域的な観光・レクリエーションネットワークの形成（健康的で体験・体感・探訪型の観光レクリエーションの実現）
- ・地域の一体感醸成、国際的なつながりへの展開（市の魅力 PR、多様な交流、地域の一体感、国際的な環境保全）

7 実現に向けた課題

(1) 都市計画上の課題

都市計画区域の併存

小山栃木都市計画区域（栃木地域・大平地域・藤岡地域・都賀地域・岩舟地域）と西方都市計画区域（西方地域）の統合（全域：小山栃木都市計画区域）に向けた調整。

整備未着手の都市計画道路

重点プロジェクトとの一体的な整備や長期未着手路線の見直し検討。

市街化調整区域の開発

都市計画法第34条による立地基準の順守と必要最低限の開発誘導による集落規模・活力の維持。

中心市街地の活性化

地域拠点となる駅周辺の都市整備や魅力づくりによる活性化。

(2) 都市計画マスタープラン運用に当たっての課題

市民が主役のまちづくりの推進

市民活躍の場づくり、マスタープランの周知、協働による計画の着実な推進。

個別事業の推進と計画の見直し・評価

事業等の法定都市計画への位置づけ、個別事業の推進、財政運営との調整による事業等の実現、計画の進行管理と柔軟な見直し。

推進体制づくり

市民・企業・団体・行政の連携・協力による推進体制の確立、関連する計画等との連携、関係機関への働きかけ・調整による円滑な事業推進。



「来て・観て・住んで・あったか“とちぎ”」

表紙の写真 市の木：トチノ木 | 市の花：アジサイ
市の鳥：カモ

栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）《概要版》

発行：栃木市 都市整備部 都市計画課
〒328-8686 栃木市万町9番25号
電話：0282-21-2431（都市計画課直通）
Email：toshikei@city.tochigi.lg.jp
（都市計画課アドレス）